

平成29年度病害虫発生予察注意報第6号

平成29年9月15日
愛 知 県

作物名：水稲

病害虫名：トビイロウンカ

1 発生地域 県内全域（普通期栽培）

2 発生程度 多い

3 注意報発令の根拠

(1) 本田調査において6月下旬に豊田市、7月下旬に岡崎市のほ場で本種成虫（図1）を確認している。

(2) 9月8日時点で新城市内5地点で本種による坪枯れを確認した（図2）。その後9月14日の時点でさらに3地点で坪枯れが確認され、発生地域が急速に拡大している。

(3) 長久手市の予察灯において9月8日、9日に本種が1頭ずつ誘殺された。

(4) 9月14日発表の1か月予報では、気温が平年並または高い確率がともに40%と予想されており、今後も本種の発生に好適な条件が続くと予測される。

4 防除上注意すべき事項

(1) 本種は地域やほ場により発生状況が異なるため、図3を参考に坪枯れの初期症状を見落とさないようほ場の見回りを十分に行い、本種が寄生している場合は、直ちに防除する。

(2) 坪枯れが確認されたほ場周辺では、本種が発生している可能性が高いので、早急に防除する。

(3) 本種は株元（図4）に生息するので、液剤や粉剤を使用して防除する場合は、株元に薬剤が十分かかるように散布する。

(4) 粒剤を使用する場合は水田を湛水し、早急に散布する。

(5) 防除薬剤は表を参考に選択する。

(6) 収穫期近くになって坪枯れの初期症状が確認された場合は、できるだけ早く刈り取る。



図1 トビイロウンカ成虫（長翅型）



図2 坪枯れ（新城市、平成29年9月8日）



図3 坪枯れ（赤矢印）及び
坪枯れの初期症状（青矢印塗り潰し）



図4 株元に群がる成虫、幼虫

表 トビイロウンカに対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	使用回数	系統名	IRACコード
キラップフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	フェニルピラゾール	2(B)
キラップ粉剤DL				
チェス水和剤	収穫14日前まで	2回以内	ピリジンアズメチン	9(B)
トレボン乳剤	収穫14日前まで	3回以内	ピレスロイド	3(A)
アルバリン/スタークル粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	ネオニコチノイド	4A
アルバリン/スタークル粒剤				
アルバリン/スタークル顆粒水溶剤				
スタークル液剤10	収穫7日前まで	3回以内	ネオニコチノイド	4A
トレボン粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	ピレスロイド	3(A)

使用回数には同一成分の剤を含む回数を含む。

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/lab0/pdf/2017/mechanism_irac.pdfを参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室

電話：0561-62-0085（内線471）